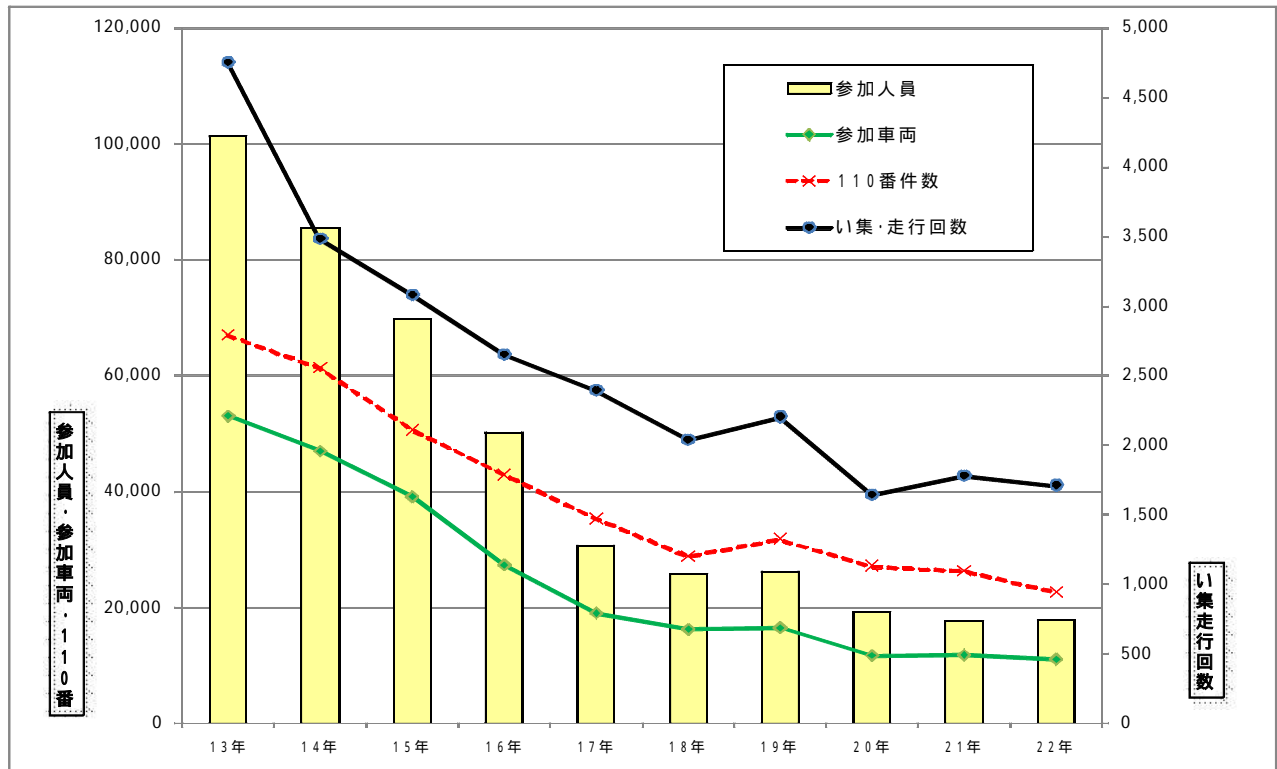


平成22年上半期における暴走族の動向及び検挙状況等について

1 動向

い集・走行回数、参加車両台数、110番通報件数は前年同期に比較し減少。  
参加人員のみ前年同期に比較し微増。

- ・い集・走行回数は、1,710回(-68回:-3.8%)・参加人員は、17,803人(+98人:+0.6%)
- ・参加車両は、11,097台(-726台:-6.1%)・110番通報件数は、22,544件(-3,614件:-13.8%)



2 検挙状況(人員)

暴走行為の小規模化が一層進展。

- ・共同危険行為等の禁止違反事件1事件当たりの平均検挙人員は減少。  
平成22年上半期 1事件当たり7.5人 平成3年中の30.5人がピーク。

区分	平成22年上半期	平成21年上半期	増減(%)
道路交通法	13,628人	14,747人	-1,119人(-7.6)
うち共同危険	1,004	1,130	-126(-11.2)
行為件数	134件	146件	-12件(-8.2)
道路運送車両法	123	103	+20(+19.4)
刑法犯・その他	1,367	1,310	+57(+4.4)
計	15,118	16,160	-1,042(-6.4)
うち逮捕者数	1,287	1,548	-261(-16.9)

刑法犯・その他の「その他」は、暴力行為等処罰法、毒物劇物取締法、覚せい剤取締法等をいう。

暴走族車両の改造事業者に対する主な検挙事件

無認証分解整備事業者による車両不正改造事件の検挙(兵庫県警)

ローリング族に対する突き上げ捜査により、背後で不正改造車両を生み出す無認証分解整備事業者を特定し、道路運送車両法違反(無認証分解整備事業経営、不正車検、ナンバー隠蔽等)により、53件29人11業者8法人を検挙(うち、不正改造により3件6人2法人を検挙)